

# 「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」



## 学校教育目標

おおらかで たくましく  
進んで学ぶ子  
地域とともに生きる子

新座市立東野小学校

令和4年12月1日(木)

TEL:479-7280 FAX:482-6794

HP:<http://www.c-niiza.ed.jp/e-higashino/>



## 「埼玉県小・中学校南部・南地区音楽会」に参加しました

校長 金澤 勇一

12月に入り、寒さが身に染みる季節になってきました。子どもたちは、元気に登校してきていますが、中にはポケットに手を入れて背中を丸めてくる子もいます。手袋やマフラーで防寒してきている子も目立ってきました。空気も乾燥してきて、新型コロナウイルスだけでなく、今年はインフルエンザも心配になっています。健康第一ですから、体調を整え、寒さも跳ね返していきましょう。もし体調が悪い場合は、休むようにしてください。オンラインでの授業参加もできます。

さて、11月18日(金)に「埼玉県小・中学校南部・南地区音楽会」が3年ぶりに行われました。南部は13市町あり、その中でさらに南北に分かれて、南地区は8市の代表一クラスが演奏しました。東野小学校は6年生が11月2日(水)に3クラスで、出場するクラスを決めるためにオーディションを行いました。オーディションの当日は、音楽の先生が体調を崩してお休みだったので、なんと私(校長)が指揮をすることになりました。私の指揮のせいで、各クラスの実力が発揮できなくては申し訳ないと必死でした。私が一番緊張していたのではないのでしょうか。どのクラスも素晴らしい演奏で、私もホッとしました。どのクラスが選ばれても大丈夫だと思いました。審査員は全教職員で、投票により決めることになっていました。投票の結果、僅差でしたが、6年2組になりました。他の2クラスは、本当に精一杯の演奏だったので残念でした。音楽会ではその2クラス分の思いが詰まった演奏ができたと思います。東野小学校の代表、新座市の代表として立派な演奏をしてくれました。どのクラスもつれていきかけたかと心底思いました。生の演奏を聴くのも本当に久しぶりで、とても感動しました。この感動は録画や録音したものとは違います。保護者のみなさんとも、この感動を共有したいと強く感じた音楽会でした。本校での音楽会も3年間できていませんが、来年度なんとか復活させたいと考えています。これからもご協力ください。



南地区音楽会「春愁」6年2組

### 「ヤングケアラー」について

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。子どもが家事や家族の世話をすることは、ごく普通のことだと思われるかもしれませんが、でもヤングケアラーは、年齢等に見合わない重い責任や負担を負うことで、本当なら享受できたはずの、勉強に励む時間、部活に打ち込む時間、将来に思いを巡らせる時間、友人との他愛ない時間。これらの「子どもとしての時間」と引き換えに家事や家族の世話をしていることがあります。(厚生労働省 H.P.より)

新座市でも、昨年度市内の中学生4,172人に実態調査が行われ、この中で7%が「ヤングケアラー」に相当するという結果になり、約292人が大人が担うべき、責任の重い家の仕事に関わっているということが分かりました。小学校での調査は行われていませんが、相当数いるのではないかと推察されます。

11月は「ケアラー」月間でした。12月になりましたが、「ヤングケアラー」についてご理解いただくとともに、気になることがありましたら、子どもたちと話をする機会とし、必要に応じて関係機関等と相談したり、支援を受けたりする事もできるので、活用について考えてみてはいかがでしょうか。厚生労働省のH.P.もご覧ください。

### ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、障病のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。



厚生労働省 H.P.